

・今月の部門セミナーですが、22 日が国際奉仕部門、・ローターアクト特別推進部門セミナー、30 日が社会奉仕部門セミナーとなっています。担当の方はよろしくお願いいたします。
 次回の例会ですが、25 日（月）で、新規事業企画立案ディスカッション例会です。
 管理運営委員会より事前にお知らせが来ていると思います、ぜひ皆様出席のほどよろしくお願いいたします。
 また、25 日（月）は例会終了後役員会がございますので、役員の皆様は出席をお願いいたします。

お客様ご挨拶

■2025-26 年度 青少年交換派遣生 小峯 愛華様

ベルギーに派遣していただきます。国際的な視点からいろいろと学べると、約 1 年前、留学を決めました。コミュニケーションを取るためにことばは大切だと思っています。今、フランス語を勉強しています。成長した私を 1 年後、見ていただきたいと思います。行って来ます。



横溝会長より
 バナーを渡しました



ご報告

2025-26 年度青少年交換留学
 生の小峯 愛華さんが、8/20
 （水）成田空港よりベルギーに
 向け出発し、無事到着。ホストファミリーに出迎えられ、留
 学生活をスタートいたしました。
 お見送りに、小峯様ご両親、ホストファミリーの横田様と
 ご家族、小峯 愛華さんご友人、その他の方々、横溝会
 長、平野幹事、川鍋 青少年交換委員会
 委員長、岡部 インターアクト委員会委員
 長、十文字 ローターアクト委員会委員
 長、鯨井 インターアクト委員会副委員長
 が参加しました。



委員長報告、派遣役員報告

■親睦交流委員会 委員長 井田 人志

8/4（月）納涼移動夜間例会に多くの会
 員にご参加いただき、ありがとうございました。

■管理運営委員会 委員長 小林 政良

来週 8/25（月）の例会では、テーブルデ
 ィスカッションを行います。ぜひご参加
 ください。

■ローターアクト委員会 委員長

十文字 裕司

ボックス投函しましたが、9/27（土）に
 大宮西ローターアクトクラブ設立総会・
 RI 加盟認証状伝達式を開催します。
 スポンサークラブとして、多くの会員
 のご参加をお待ちしています。

■社会奉仕委員会 委員長 金 福漢

9/8（月）の移動例会ではさいたま市児
 童養護施設「カルテット」を訪見しま
 す。現状を見学し、子どもの送迎に使用
 していただく電気自転車の贈呈も行いま
 す。

■青少年奉仕委員会 委員長 川鍋 洋子

8/20（水）は小峯愛華さんのお見送りに



8/23（土）は Emilien くんのお迎えに行き
 ます。日本で安心して暮らせるよう皆様
 のお力をお貸しください。



米山記念奨学金支給 及び 近況報告

■2025 学年度米山記念奨学生 モモ トウンさんに福田 和子会員 より支給

モモ トウンさん近況報告

「7/25（金）-26（土）に富
 士山に登ってきました。日本
 に来る前から登りたかったの
 ですが、大変でした…」



誕生日祝い

榎本 貞寿（3 日）、田口 修身（8 日）、土屋 隆弘
 （15 日）、清水 明仁（18 日）、竹内 雅人（27 日）、
 小林 政良（31 日）各会員



代表挨拶

土屋 隆弘 会員

「夏休みとか盆休みでなかなか祝っていただ
 けないことが多いので、うれしいです」



ロータリーの友 解説

■広報・ICT 委員会 副委員長

藤池 誠治

ロータリーの友を熟読したのは初め
 てでしたが、解説をしていきます。

横組

P.6

会員増強月間ということで、会員増
 強のヒントとして、日本で 12 番目に
 創設したオンラインクラブの E クラブについて紹介を
 しました。

P.12

カルガリー国際大会について解説をしました。

縦組

P.2 トランプ大統領の記事について、なぜトランプ大
 統領のアメリカファーストについて、今までの行動や
 考え方について紹介をしました。

今日は、46 ページを詳しく話したいと思ってウキウキ
 して登壇しました。「ロータリーあるある相談室」相
 談内容は、ロータリー用語が分かりにくい。例が記載
 されていますが、「私たちのビジョンは、グローバル
 におけるイニシアチブをリードし、パートナーシップ
 を強化することで、インクルーシブな成長を促すこと
 です次世代に対してインパクトを与えるためのレガシー
 を作り出すべく、サステナブルなソリューションを
 推進し……」もう何を言っているのか分からない、
 カタカナ用語が氾濫して見当がつかない言葉も多くあ
 ります。人に理解をしてもらう為には分かりやすい表
 現が大原則。過度なカタカナや専門用語は相手を混乱
 させるだけです。新会員の多くは、ロータリー内に理
 解できない言葉が多いと感じます。解決策は用語に無
 理なく慣れていくことです。とのことでした。



カタカナに慣れるということは、これからの国際社会
 に近づくということにもなりますので、ぜひ皆さんも
 熟読してください。